

月刊

社協だより

2021年
3月号



社協
かるが

発行：狩留家地区社会福祉協議会 編集：広報部
広島市安佐北区狩留家町3144番地 TEL：844-0826

町づくりご支援に感謝

一月二十二日に立ち上げた「狩留家なす物流センター支援」のクラウドファンディングに狩留家の八十軒の方からご支援を頂きました。この数は狩留家の世帯数の三分の一に当たります。

「最後まで住み続けられる町づくりを！」を指し、狩留家街づくり事業を始めてから初めての任意の支援活動の依頼でした。

本当はまだまだご支援いただける方もおられたのだと思いますが、インターネットでの応募でしたのでどうすれば良いかわからない方が多かったようです。又近親者、お知り合いの方への働き掛け等もしていただき、東京や大阪等遠隔地からのご支援も沢山いただきました。二月二十六日の終了までには百七十名のご支援を頂き、二百二十二万円集まりました。終了後寄

付して頂いた方がおられ追加支援金は六万一千円でした。

当初の支援金の百万円は助成金の自己負担部分に充当し、追加支援部分はコロナ対策の資金等に充たせていただきます。御礼申し上げます。有難うございました。

移動支援サービス

八年前に実施した、「福祉の町づくりプラン策定」事業の民意を問うアンケートで得られた百六十件の問題提起の中で三年たっても解決できなかった問題は、総括としては、「最後まで住み続けられる狩留家の町づくり」で具体的には「一、買物や通院等の生活交通の足（自動車）の便を良くしてほしい。一、狩留家で生活必需品が調達できるようにしてほしい。」

二月資源ごみ売上 一万一千円

一、いざという時、入所・入院が出来るようにしてほしい。

の三点でした。生活必需品の購入は、交通の便が良ければどうにかなるし、入所・入院も交通の便さえよければ、少々遠くてもどうにかあります。その意味で狩留家ジンの根本的問題は、交通の便を改善できるかどうかにかかっています。

移動支援のための車輛付き運転サービスの件に付きまして、先般から回覧板で運転候補者を募集しておりますが未だに、応募者が出ておりません。

前のアンケートでは、二十人以上の方が応じても良いとお答えでしたが、個人応募になると反応がありません。

この移動支援サービスは、狩留家にとって重要な福祉の町づくりの活動で、交通手段の解決をすれば、五〇%以上の福祉活動が完了したと言っても過言ではありません。

「最後まで住み続けられる狩留家の町づくり」にご協力を再度お願いします。

狩留家で交通支援サービスが開始できることを切望します。(会長記)

理事会報告(令和三年三月九日)

議題

- 一、地区社協活動拠点活性化支援事業について
- 二、移動支援サービスについての現況報告
- 三、令和二年度の反省・総括、令和三年度の活動方針

狩留家の史跡(七) (順正寺)

順正寺は天文五年(一五三六)甲斐国から武田四郎尉重信(武田信虎の弟、武田信玄の叔父、僧名重順)が戦乱を避けて来狩し、古城跡に開基しました。

その頃は狩留家までが安芸守護職武田氏の領地で三田が毛利氏の勢力範囲、ここは国境の重要な場所でした。城があったようですが、城主も判らず、廃城になっていたところ、はかまだれの石垣に名残をみる事が出来ます。

当時は福寿院寿福寺の



薬師如来を本尊として真言宗でした。二代目住職道加の時、浄土真宗に改宗。これは毛利輝元が浄土真宗を庇護したことによりです。

薬師如来像は、現在薬師堂に安置され、順正寺抱えとなっております。

本堂の左に妙好人浄念さんの石碑があります。浄念さんの功績を称え、狩留家住民が力を合わせ下の竹藪から石を引き上げ建立しました。台石は舟の形をしており、西方浄土の方向を示しているとのこと。

